

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～23℃台を示し、かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり28kgの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり801kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり92kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.3トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、マアジなどが1日1統当たり679kgの水揚げ。対馬西岸地区では、メジナなどが1日1統当たり261kgの水揚げ。対馬東岸地区ではヒラマサなどが1日1統当たり430kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり291kgの水揚げで、前週の59%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(5/20～5/25の5日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、太平洋公海域のアカイカ(ムラサキイカ)漁に出漁中。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、壱岐・対馬沖、山口沖、山陰沖、能登半島沖、佐渡沖で操業。

沖合イカ釣(鳥取県西部・沖合船)は、入港船なし。

(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>